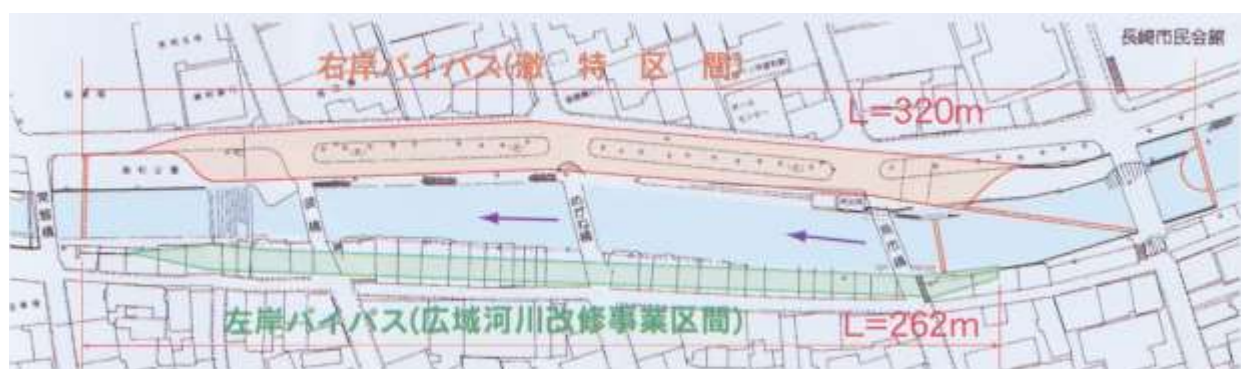


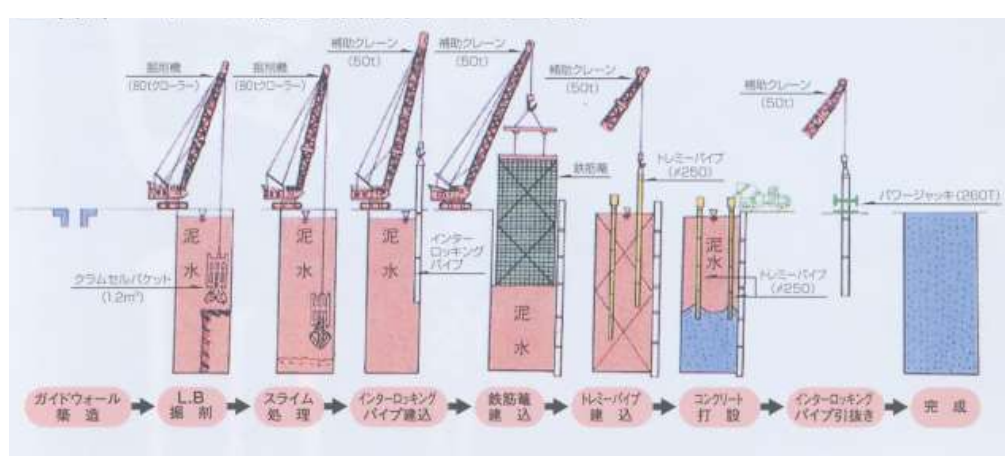
左右岸バイパス水路工事①

右岸バイパス水路工事

両岸のバイパス水路工事にあたり、右岸側はもともと長崎市の中島川都市公園であったことから、一旦公園を撤去したうえで、昭和59年に右岸バイパス水路工事に着手しています。



(中島川バイパス計画平面図)



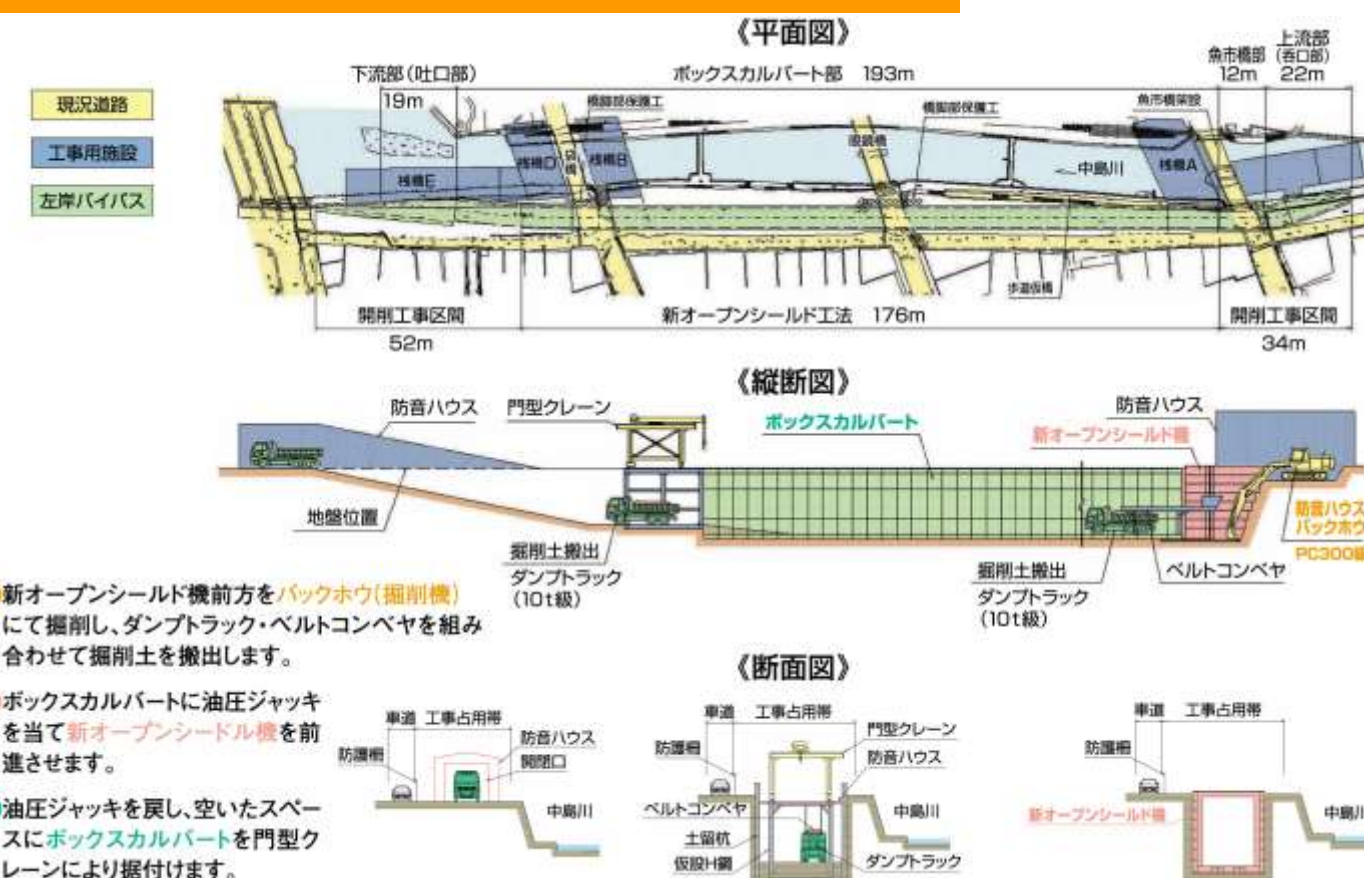
(右岸バイパス施工方法)



(左写真：右岸バイパス施工状況)

バイパス水路区間は兩岸とも市道と平行して商業ビルや家屋が連担しているため、周辺への影響を抑えるため、右岸バイパス工事では特殊な連続地中壁工法（イコス工法）を採用し、昭和63年には公園復旧まで完成しています。

左岸バイパス水路工事



(左岸バイパス水路工事施工概要)

左岸バイパスの施工方法として、新オープンシールド工法を採用し、ダンプトラックのボックス内走行により工事中の交通問題や防音ハウスの設置による騒音対策を行い、門型クレーンによるボックスカルバートの運搬により周囲の景観に配慮し工事を行いました。

眼鏡橋左岸部には、もともと多数の民家兼商店が連なっていたことから、その移転補償を経て、平成15年から平成18年にかけて工事が行われました。